

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を簡潔に記入してください。
 下記に必要な事項を記入または○をつけてください。1ページ以内に収まるよう記入してください。

| | |
|----------------|---|
| 組織・グループ名 | おれんぢせえぶ |
| グループの属性 | ①セルフヘルプグループ・当事者団体等 ②ボランティアグループ等 ③市町村社会福祉協議会及びそれを構成員とする実行委員会等 |
| 助成区分 該当テーマ等 | ①一般助成 ②協働モデル助成 ※②を選択した場合、本会の提示した該当テーマを記入 [] |
| 助成事業名 | こころの病を抱える人の居場所づくり、安らぎの場の提供としての活動 |

助成事業の概要〔目的・取組み概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入。

おれんぢせえぶ

こころの病や悩みを抱える人、居場所が欲しい、話をしたい・聴きたい人ために、退院支援をしている神奈川県西部のピアサポーター他、有志が集まって立ち上げたフリースペースです。「おれんぢせえぶ」という名称には、居場所（＝俺ん家）を守る（＝セーブ）という意味合いが込められています。

●活動の様子



○フリースペース： 本年度は月1回小田原市の会議室を借りてフリースペースを開催しました。参加者の中心は当事者ですが、ご家族・支援者・ボランティアの方々のご参加もあります。コロナ対策として会場の広さに応じて参加定員を設けることとなりましたが、毎回15～20人程度が参加されています。

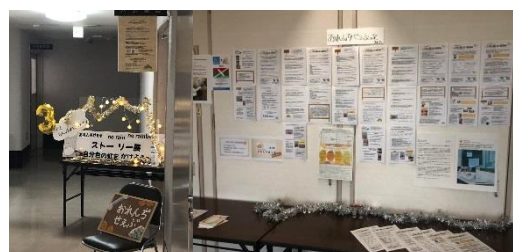
会場はソーシャルディスタンスを意識しつつ、机と椅子をランダムに並べて、皆さんが自由に席を選びお話をしています。必要に応じてピアサポーターが自身の経験や社会資源についてお話させていただいたり、個別に相談にのったりもしています。

また、Zoomを利用し、フリースペースの会場をオンラインでつないだハイブリッド開催や、オンラインのみの語り合いの場を設け、会場に足を運ばない方や、まん延防止措置・緊急事態宣言下でも、つながりを保つ工夫を行いました。

○通信紙「no rain no rainbow」： コロナ禍でもつながりを保つため、参加者の方々からアンケートを取ったり情報発信してもらい、皆さんと双方向のやり取りで紙面づくりを行いながら、本年度は年3回の通信紙を発行しました。今後もSNS等で発信していきますので是非チェックしてみてください。

○おれんぢせえぶストーリー展 no rain no rainbow～自分色の虹をかけよう～ (R3.12.11開催)：

おれんぢせえぶに参加していただいているの方々を中心に、自分たちの元気のきっかけになったような作品、好きな事、支えになったものなどを展示・紹介するイベントを、南足柄市りんどう会館で開催しました。当日はおれんぢせえぶの参加者だけでなく、地域の事業所の方々も作品提供に協力してくださり、交流を深めることができました。



●今後の展望

3年間の助成をいただきましたおかげで、立ち上げから活動の基盤を築くことができましたと思います。今後も地域にリカバリーの風をふきこむため、あらゆる活動を企画・実施していきたいと考えています。オンラインの活用により今まで出会えなかった様々な地域の方々、団体の方々ともつながれるようになりました。地域に根ざしつつ、よりたくさんの必要とさせていただきます方々と「つながる・むすぶ・ひろがる」ように活動していきますので、これからも暖かく応援してください！